



能勢高校ニュースレター

第63号 H.24. 10月発行

秋が深まり、木々の緑にも茶色や黄色、赤色が混じるようになってきました。冬が近くまで来ている気配です。能勢高校では、この夏から秋にかけて様々な取り組みがありました。

能勢高校文化祭を開催しました。ご来場ありがとうございました！

9月29日（土）に恒例の文化祭を秋晴れのもと開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。当日、能勢高生は、舞台や展示、模擬店等に大活躍しました。

今年で、連携型中高一貫教育校および総合学科で新たな学校として出発してから9年、その準備段階を含めると10年以上の歳月が流れた事になります。

生徒たちは何とか文化祭を盛り上げようといろんな工夫を試みていましたが、全体企画という出し物は、当時の普通科と園芸科を結びつけ、小規模校の文化祭らしさを生む道具であったように思います。言ってみれば今でいう「きずな」のようなものです。

全体企画は現在もあります、小中高連携企画のはじまりはすでに存在していました。「フラワーアート」や「新作浄るり音頭」で小学生や中学生だけでなく地域の人すべてを取り込んで「きずな」を深めようというものでした。

そのような歴史を振り返りますと、この10年あまり、小学生や中学生との連携また地域との触れ合いが能勢高校の文化祭を育ててくれたことに気付きます。総合学科となり4つの系列ができ、能勢高生は農場の生産物で地域の人々と、町内の福祉施設でボランティア活動や部活動の発表、そして国際交流で留学生や海外の人との触れ合いなど、すべてが集約されたものが「能勢高文化祭」なのではないでしょうか。

今年のテーマが「能勢高Fire～もっと熱くなれよ！～」でしたが、今の文化祭をもっと楽しく・・・という生徒たちの声が未来を創っていくのだと感じております。

文化祭の成功にあたり、ご協力を頂いた小中学校、



小中高連携企画

「こころでつなぐ炎のきずな」

P T A、「能勢高校を応援する会」「オイスカ関西研修センター」「大阪大学モンゴル今岡教授ゼミ」「NGO 三陸アシスト」など関係の皆さまへ文化祭実行委員会の生徒ともども厚くお礼申し上げます。これからも、ご協力・ご支援のほどよろしく願いいたします。



全体企画「入場門」



ダンス部の発表



農業クラブの生徒参加
農産物販売



オープニングの西中吹奏楽



映像・体育館ステージ・展示



オイスカの活動報告

震災復興募金ありがとうございました！！

今年は東日本大震災から1年半。本校の総合学習で学んでいるオイスカやモンゴルジェンダーセンターへの活動支援だけでなく東北への募金活動を行いました。1年次生が中心となり、「奇跡の一本松保存募金」（陸前高田市）を行いました。真鍋校長や山川学年主任、P T Aの中植さん、留学生のディルなどが立ち合いました。



陸前高田市 戸羽市長

(中央)に募金を手渡しました

文化祭のチャリティー活動

① モンゴルジェンダーセンター活動支援 (ボウブ、乳茶の販売とバザー)	9,450円	ジェンダーセンターの子どもたちの学習教材「モンゴルのウランと放射能の影響について」の作成に支援
② オイスカ活動支援 (カモテキュー(揚げイモ)の販売)	13,550円	オイスカのフィリピンマングローブ林植林活動へ支援
③ アシスト三陸活動支援 (お菓子、サイダーの販売)	47,200円	*岩手県大槌町の復興支援
④ 奇跡の一本松保存募金 (募金活動 募金箱の設置)	41,000円	陸前高田市 一本松保存活動支援

*能勢高校では、8月にも「うちわプロジェクト」で大槌中学校に、応援メッセージうちわを送りました。このプロジェクトの詳細は、次号ニュースレターでお知らせします。

文化祭にMBS(毎日放送)が取材に来ました!!!

文化祭でのモンゴル企画(展示、チャリティー)に大阪大学外国語学部教授今岡良子先生が協力していただいている様子の取材と、展示教室で今岡先生が生徒に講演(1年次生「産業社会と人間」でのモンゴル学習)の感想を聞くという形でのインタビュー取材が行われました。

インタビューを受けた生徒たちは、「上から集音マイクをかざされ、カメラを回れてドキドキしました。モンゴルの遊牧民の暮らし、モンゴルのウランと放射線の話やごみを出さないモンゴルの遊牧民の暮らしについてなど、たくさん話すことができとても楽しかったです。」と、緊張しながらもインタビューを楽しみました。今岡先生は教育をテーマに日本とモンゴルの民間交流を促進しています。

MBS夕方6時15分からの報道番組「VOICE」で原発とモンゴルについての特集で放送される予定です。



能勢高校PTA研修会を実施しました!

10月13日(土)、今年度も能勢高校農場にてPTA研修会が開催されました。昨年同様、本校のPTAだけでなく、小中高PTAの交流も兼ねて定員を上回る大勢の皆さんに参加していただきました。子ども12名を含め50名が2班に分かれて、真鍋校長が講師を務める「福助菊の仕立て方」と農業科の間先生がおこなう「ブドウジュース作り」を体験しました。

好天に恵まれ、農場の見学や茶話会など小中高の交流も賑やかにこなされました。鮮やかな開花を待つ菊とまだ温かいブドウジュースを手に農場を後にしました。

来年のPTA研修の際には、より多くの皆さまにご参加いただき、能勢高校農場の魅力に触れて頂きたいと思います。



好天の中、集合写真

菊選び



菊の講習



農場見学



ブドウジュース



茶話会

進路指導部のサポート役 キャリアコーディネーター 山崎 信彦です



はじめまして。6月20日に赴任してきました、進路指導部 キャリアコーディネーターの山崎信彦と申します。3年生で特に就職を希望される生徒の皆さんへの、支援・サポートを担当させていただきます。

無事、希望の会社から内定を頂ければ、卒業後から社会人としての第一歩を踏み出しますし、また、進学を考えている皆さんも、その後に社会人としての人生は必ずやってきます。昨今は社会情勢も依然として不安定な状況にあり、その中で、就職をめざす皆さんを取り巻く環境も、年々厳しさを増してきていますが、このような時代だからこそ、あいさつや礼儀といった、基本的なことができるかできないかが大きな分かれ目になります。

学業や課外活動などに積極的に取り組む中で身につけた知恵や知識、そして人間力を一人一人が存分に発揮し、これからの人生を有意義で充実したものにできるよう、また、皆さんそれぞれの将来に対する不安を、期待と自信に変えていけるよう、微力ながらお力添えができればと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。